



KAGOSHIMA Y'S MEN'S CLUB

2022. **8**月号

鹿児島ワイズメンズクラブ No. 380

- 国際会長：K.C.Samuel [インド] フェロウシップとインパクトで次の100年へ
Into the next 100 Years with FELLOWSHIP & IMPACT
- アジア太平洋地域会長：Shen Chi-Ming [台湾] 新しい時代とともに、エレガントに変化を
Elegantly Change with New Era
- 西日本区理事：田上 正 [熊本むさし] 原点を知り将来に生かす!
Know the origin and utilize it in the future!
- 九州部部長：今村 格 [熊本クラブ] 熱意をもって、自クラブ活性化に貢献しよう。
Let's contribute to activate your club with enthusiasm.



SDGsに取り組みながら、クラブの未来を創造しよう!
Let's create the future of the club while working on the SDGs!

鹿児島クラブ会長
松永 英明

2022—23 年度 鹿児島ワイズメンズクラブ キックオフ例会報告

鹿児島クラブ 中堀 清哲

松永会長の開会宣言で新年度のキックオフ例会が7月26日(火)午後7時から始まりましたが、新型コロナウイルスオミクロン株の蔓延急拡大により、ZOOMでの開催となりました。コロナ禍も3年が過ぎました。なかなか厄介なウイルスです。今期は例会の司会は輪番制となり今月は神村ワイズが司会です。総会が行われ、協議事項として21—22年度期の決算及び事業報告と22—23年度期の予算案、事業計画案が議題として協議されました。両議案とも全会一致で可決されました。



松永会長からはSDGsを昨年度に引き続き鹿児島クラブの活動に盛り込み、YMCAとの協働をしながら例会の充実を図る旨、表明がなされました。例会のあり方についても熱心な話し合いがなされ、充実した卓話の内容に期待が持てそうです。この1年、何とかこのコロナ禍を乗り越えて、会員獲得を成し遂げてクラブの事業活動を継続させて参りましょう。

TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT



SDGsに取り組みながら、クラブの未来を創造しよう!
Let's create the future of the club while working on the SDGs!

毎日暑い日が続いていますが、皆様お元気でお過ごしでしょうか。日頃のワイズダムへのご奉仕に心より感謝申し上げます。

7月のキックオフ例会は急遽リモート開催になりましたが、皆様のご協力をいただき会長として無事にスタートすることができました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

今期は前期に引き続き、SDGs (Sustainable Development Goals) をテーマに事業活動を展開していきます。SDGsは日本語で「持続可能な開発目標」と訳されます。ここで重要なことは「持続可能」というキーワードです。「自然の恵みを最大限に享受し、生きている私たち。地球も経済も持続可能でこそ豊かな未来が実現します。」とされています。企業にとっても、新型コロナウイルスによってビジネスや市場を取り巻く環境は激変しています。その中でも少子高齢化による人材不足、消費者ニーズの多様化など、売上拡大や事業承継において課題を抱える企業が増えています。特に社員のモチベーションを維持できないとか優秀な人材を確保できないとかは大きな課題になっています。クラブも一緒ではないでしょうか。今こそ、鹿児島クラブを維持していくために、発展していくために、正しくクラブを成長させる道しるべとして「SDGs」を基盤に取り組んでいければと思っています。近い将来的、ワイズメンズクラブに鹿児島クラブに共感していただける仲間が増えていければ最高です。

最後に10月1日土曜日に熊本市国際交流会館で九州部部会が開催され、花畑御殿城見櫓で懇親会が開催されます。出席予定の皆様、大いに楽しみましょう。

まだまだ暑い日が続きますし、コロナもまだまだ油断できません。どうぞご自愛くださいませ。



原点を知り将来に生かす!
Know the origin and utilize it in the future!

第25回西日本区大会が単日開催のこともあり、多くの参加者の前で理事引継ぎ式ができたこと、皆様のご期待を追い風にスタートできたことをうれしく思います。次期理事期の間、懸命に準備すれば理事期のスタートから順風満帆に物事は進むはず…との考えは甘く、新たな課題も次々に出てきます。

各部において評議会が開催されています。7月2日の九州部評議会では今村部長の決意をお聞きし九州部からの力強い後押しを実感しました。続くEMCシンポジウムでは塚本EMC事業主任からのビデオメッセージをいただき、私から「勧誘のコツ」と題してお話をする機会を得ました。勧誘したら対面例会にお誘いするのが常道ですが、コロナ感染拡大で対面例会自体ができなかったこの数年ですから、復活へのエネルギーを発揮するのはこれからです。

7月9、10日に第1回役員会を開催しました。第1回、第2回準備役員会で協議を続け、LD拡大委員会でも話し合ってきた「新ワイズアカデミー創設の件」を報告いたしました。ワイズをもっと知りたい勉強したいメンバーと共に提案型の勉強会として作業部会(タスクフォース)を立ち上げます。今期は9月にワイズのEMCについて徹底的に話し合う月間にしたいと考えています。国際から提案のあったStrategy2032(戦略2032)を資料として、西日本区のワイズ運動も問題点と対比しながら、これからの展望について語り合うことで出来たらと思います。詳細については近々ご連絡いたします。現在行われているワイズ将来構想委員会やパーパスブランディング委員会の受け皿になればと考えています。

国際協会本部から各区に会員データベース(Portalbuzz)の提出を求められています。会費徴収や国際選挙の際に使用し会員数把握が目的ですが、西日本区はクラブ負担が増えることから受け入れていません。しかし将来ワイズメンズクラブの義務になる可能性もあるので、キャビネット、事業主任、各部長とともにアジア太平洋地域の責任者などをお願いして勉強会を始めました。9月になると各部

会が始まります。田上期キャビネットや第26回西日本区大会実行委員会のメンバーと共に伺います。皆様と直接会える大切な機会ですので楽しみにしています。

〈ひとこと「物忘れ対策するも…」〉

物忘れ対策として、今日一日の予定や持っていく物を広告用紙などの裏紙を利用したメモ用紙に書いています。移動中にはいちいちメモを確認せず、最小限の小物の有無と手荷物の数だけチェックします。それでも重要小物や大きなバッグなどを忘れるのは何故でしょうか？私のメネットは3年日記を書いています。「あなたは去年の今日も午前様だったね」言われたことがきっかけで、私は対抗して5年日記をつけています。日記を書くときはいろいろ思い出さないといけないため、短期記憶のトレーニングには良いようです。

7 July 定例会報告

日 時：令和4年7月26日(火) 19:00～20:30
 場 所：Zoom
 出席者：8名
 司会者：神村

7月例会の記録

クラブ在籍者	10名
出席者	8名
メネット	0名
コメント	0名
ゲスト	0名
ビジター	0名
メイクアップ	1名
7月出席率	90%

8 August 企画例会報告

日 時：令和4年8月9日(火) 19:00～20:30
 場 所：Zoom
 出席者：神村、中堀、園屋、徳田、松若、新内、大平、松永

今月の樹

キンカン



ミカンの花はすでに終わったが、キンカンは花期が長い。秋にできる小さな金色の実をよく目立つが、白い小さな花は目立たずに咲く。高さ1-2mの灌木である。

学名は *Fortunella japonica* で、ミカン科キンカン属である。中国の原産であるが *japonica* の名がついている。



今月の聖句

エルサレムに近づき、都が見えたとき、イエスはその都のために泣いて、言われた。「もし、この日に、お前も平和への道をわかまえていたなら……。しかし今は、それがお前には見えない。」



ルカによる福音書
19章41～42節

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



イベント出演 鹿児島サンロイヤルホテルサマーフェスタ

8月14日（日）に開催されました鹿児島サンロイヤルホテルのサマーフェスタ2022に出演させていただきました。ダンスを踊るだけでなく、イベントに臨む姿勢もこのような機会に学んでおります。



サマーキャンプ開催

7月30、31日で山梨YMCAチアダンススクールの子どもたちと一緒にYMCA東山荘にてサマーキャンプを行ってまいりました。2日間という短い時間ではありましたが、お互いに寄り添いあいながら声を掛け合って練習に励んでいる様子がそれぞれの刺激となり、よい成長となっているようでした。



8月21～22日は、鹿児島YMCAサマーキャンプを3年ぶりに行いました。いつものレッスンとは違い、他クラスのメンバーと交流したり、同じクラスのメンバーと絆が深まったりと充実した時間となったようです。感染症対策はもちろんのこと、熱中症にも十分気を付けて行いました。サマーキャンプにきたことで、「チアをもっと好きになった」、「友達と助け合って過ごすことができた」など子どもたちの向上心が見られる感想が多く寄せられました。



※それぞれのサマーキャンプは、感染症対策を行い、抗原検査を行った上で開催しました。終了後、体調不良等の子どもたちもおらず元気に活動を行っております。

鹿児島YMCA 大平 さやか